



2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL http://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)杉浦 元
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)石川 美穂 (TEL)03(6823)4306
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年6月期第1四半期 | 37 | 13.2 | △277 | — | △303 | — | △632 | — |
| 2022年6月期第1四半期 | 32 | △93.8 | △261 | — | △246 | — | △61 | — |

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 △638百万円 (— %) 2022年6月期第1四半期 △41百万円 (— %)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年6月期第1四半期 | △47.14 | — |
| 2022年6月期第1四半期 | △5.21 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年6月期第1四半期 | 1,495 | △65 | △4.4 |
| 2022年6月期 | 2,859 | 859 | 20.0 |

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 △65百万円 2022年6月期 572百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年6月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----|-------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 50 | △20.6 | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 180 | △78.3 | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名)株式会社アップライツ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年6月期1Q | 13,422,453株 | 2022年6月期 | 13,422,453株 |
| 2023年6月期1Q | 86株 | 2022年6月期 | 86株 |
| 2023年6月期1Q | 13,422,453株 | 2022年6月期1Q | 11,730,713株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (後発事象) | 9 |
| 3. その他 | 10 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的概況

当社グループは、本年8月の臨時株主総会にて経営体制が刷新されたことから、これまでの多事業拡張路線から足元を固める経営方針へと変更いたしました。これを受け、これまでの「プラットフォーム事業」および「BSP事業」の2つの事業セグメントを、当第1四半期連結会計期間より単一セグメントへ変更しております。

当第1四半期連結累計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）においては、前期より実施していた、Q&Aサイト「OKWAVE」と連携した「OKWAVE Plus」ならびにクラウドサンクスカード「GRATICA」のPMF（プロダクトマーケットフィット）が奏功したことから、「GRATICA」はHR領域、「OKWAVE Plus」はコールセンター領域でのニーズ獲得が進んでおります。これにより案件化が進んできており、徐々に売上としても現れてきております。

またマレーシアにある子会社「OK BLOCKCHAIN CENTRE」におきましても、アジア地域を中心にオンライングリーティングカードアプリ「DAVIA」を展開し、売上高を積み上げているものの、経営問題が営業活動に影響を及ぼしたことで商談が鈍化しております。

営業損益におきましては、本年7月に経費削減を目的として東京都港区から渋谷区へ移転を行いました。並行期間が発生したことから家賃が重複したことに加え、連結子会社であるOK FUND L.P.の運営費などによる支払報酬・手数料が引き続き発生していることなどから営業損失△277,151千円となっております。経常損益におきましても当社における経営権争いに関するコストが一時的に生じており経常損失△303,825千円となっております。加えて特別損失として株式会社アップライツに係る投資有価証券評価損を309,088千円計上しております。

このような状況から、当第1四半期連結累計期間において売上高はやや増収しましたが、段階利益は前年同四半期同等または下回る結果となりました。

| | | |
|---------------------|------------|----------------------------------|
| 売上高 | 37,182千円 | （前年同期比4,338千円増） |
| 営業損失（△） | △277,151千円 | （前年同期は営業損失△261,445千円） |
| 経常損失（△） | △303,825千円 | （前年同期は経常損失△246,084千円） |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △632,729千円 | （前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失△61,106千円） |

なお、事業別の概況については、単一セグメントへ変更を行ったため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、主に株式会社アップライツを連結除外したこと等に関連して「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」及び貸倒引当金控除後の「長期預け金」が減少したことにより1,495,666千円（前連結会計年度末比1,363,672千円減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に株式会社アップライツを連結除外したことによる「買掛金」の減少及び旧オフィス撤退による「資産除去債務」の減少により1,561,046千円（前連結会計年度末比438,725千円減少）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の減少及び株式会社アップライツを連結除外したことによる「非支配株主持分」の減少により△65,379千円（前連結会計年度末比924,947千円減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、子会社整理に伴う弁護士やアドバイザー等の費用が見込まれること、さらに一部債権の回収見込みが不確実なことから、2022年9月21日発表値から変更はございません。今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 460,508 | 234,688 |
| 受取手形及び売掛金 | 237,344 | 18,030 |
| 前払費用 | 58,745 | 20,055 |
| 未収消費税等 | 140,639 | 28,650 |
| 未収還付法人税等 | 217,481 | 101,430 |
| その他 | 10,820 | 2,601 |
| 貸倒引当金 | △1,419 | — |
| 流動資産合計 | 1,124,120 | 405,455 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 54,816 | 663 |
| 減価償却累計額 | △47,167 | △663 |
| 建物及び構築物（純額） | 7,648 | — |
| 工具、器具及び備品 | 26,990 | 13,414 |
| 減価償却累計額 | △23,361 | △13,414 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 3,628 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 11,277 | 0 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 23,103 | 0 |
| 無形固定資産合計 | 23,103 | 0 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 66,758 | 64,142 |
| 差入保証金 | 175,532 | 9,154 |
| 長期貸付金 | 60,000 | 60,000 |
| 破産更生債権等 | 4,933,032 | 4,933,032 |
| 長期末収入金 | 544,219 | 550,333 |
| 長期預け金 | 726,148 | — |
| その他 | 78,558 | — |
| 貸倒引当金 | △4,883,410 | △4,526,451 |
| 投資その他の資産合計 | 1,700,838 | 1,090,211 |
| 固定資産合計 | 1,735,218 | 1,090,211 |
| 資産合計 | 2,859,339 | 1,495,666 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 377,541 | 4,579 |
| 短期借入金 | — | 120,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,800 | — |
| 未払金及び未払費用 | 324,639 | 345,421 |
| 未払法人税等 | 14,034 | 4,350 |
| 特別調査費用引当金 | 99,337 | 41,230 |
| 資産除去債務 | 101,200 | — |
| 仮受金 | 1,016,914 | 1,016,914 |
| その他 | 18,894 | 28,551 |
| 流動負債合計 | 1,958,361 | 1,561,046 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 40,465 | — |
| その他 | 945 | — |
| 固定負債合計 | 41,410 | — |
| 負債合計 | 1,999,771 | 1,561,046 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,934,038 | 1,934,038 |
| 資本剰余金 | 1,379,552 | 1,379,552 |
| 利益剰余金 | △2,725,549 | △3,358,279 |
| 自己株式 | △85 | △85 |
| 株主資本合計 | 587,956 | △44,772 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,064 | 5,330 |
| 為替換算調整勘定 | △19,801 | △25,936 |
| その他の包括利益累計額合計 | △15,736 | △20,606 |
| 非支配株主持分 | 287,347 | — |
| 純資産合計 | 859,567 | △65,379 |
| 負債純資産合計 | 2,859,339 | 1,495,666 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 32,844 | 37,182 |
| 売上原価 | 115,393 | 112,445 |
| 売上総損失(△) | △82,549 | △75,262 |
| 販売費及び一般管理費 | 178,895 | 201,888 |
| 営業損失(△) | △261,445 | △277,151 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 38 | 4 |
| 為替差益 | 7,686 | 8,042 |
| 業務受託料 | 5,490 | — |
| 雑収入 | 5,344 | 3,422 |
| 営業外収益合計 | 18,560 | 11,469 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 1,017 |
| 支払報酬 | 3,199 | 37,126 |
| 雑損失 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 3,200 | 38,144 |
| 経常損失(△) | △246,084 | △303,825 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 216,671 | — |
| 資産除去債務戻入益 | — | 10,523 |
| 特別利益合計 | 216,671 | 10,523 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 3,760 | 12,208 |
| 投資有価証券売却損 | 22,336 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 309,088 |
| 特別調査費用引当金繰入額 | — | 31,045 |
| 上場契約違約金 | — | 4,680 |
| 特別損失合計 | 26,097 | 357,022 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △55,511 | △650,324 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,055 | 573 |
| 過年度法人税等戻入額 | — | △17,621 |
| 法人税等調整額 | △7,459 | — |
| 法人税等合計 | 5,595 | △17,048 |
| 四半期純損失(△) | △61,106 | △633,275 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △546 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △61,106 | △632,729 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △61,106 | △633,275 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17,907 | 1,265 |
| 為替換算調整勘定 | 1,963 | △6,086 |
| その他の包括利益合計 | 19,870 | △4,821 |
| 四半期包括利益 | △41,235 | △638,096 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △41,235 | △637,550 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △546 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前第3四半期連結会計期間において、Raging Bull合同会社に対する債権4,933,032千円について取立不能または取立遅延のおそれが明らかになり、その事象が前第3四半期連結会計期間の末日において生じていたことが判明したため、当該債権4,933,032千円と仮受金1,016,914千円との差額3,916,117千円について貸倒引当金を計上しました。加えて、前第4四半期連結会計期間に長期預け金に対する貸倒引当金及びのれんの減損損失を計上しております。この結果、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純損失5,120,709千円を計上しました。また、2020年6月期以降において営業損失が継続しており、当第1四半期連結累計期間には株式会社アップライツに係る投資有価証券評価損を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失632,729千円を計上し、当第1四半期連結会計期間末において、65,379千円の債務超過となっております。このような状況のなか、今後追加の運転資金が必要になることが想定されますが、一部の借入については実行できたものの十分な資金は確保できておらず、現時点では金融機関等からの追加の資金調達について確実な見通しが得られている状況にはありません。

これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消するために、当社グループは、以下の諸施策を遂行することにより、収益構造の改善及び財務基盤の安定化に取り組んでおります。

(1) 収益基盤の改善

- ・顧客データの分析により事業の成長性を見極め、確実性が高い分野ヘリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図っております。
- ・販売費及び一般管理費について、人件費や業務委託費の見直しを行い、本社移転により諸経費削減を推進しております。

(2) 財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、グループ内の資金を最大限に有効活用してまいります。また、投資有価証券の売却を行う等、運転資金の改善に努めております。なお、取引金融機関等に対しても、引き続き協力を頂くための協議を進めていくとともに、資本の増強策の可能性についても検討しております。

今後も上記施策を推進し、収益力の向上と財務体質の強化に取り組みますが、これらの改善策並びに対応策は実施中であることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、親会社株主に帰属する四半期純損失632,729千円を計上したことにより、当第1四半期連結会計期間末の純資産は65,379千円の債務超過となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来の「プラットフォーム事業」と「BSP事業」の2区分から単一セグメントに変更しております。この変更は、2022年8月25日開催の臨時株主総会において経営陣を刷新したこと、及び、前期に連結子会社でありました株式会社アップライツ、株式会社アップドリーム、株式会社OMTYを、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外したことに伴い、当社グループの今後の事業展開、経営資源の配分、経営管理体制のあり方について見直しを行った結果、単一セグメントが適切であると判断したためであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントになることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前第3四半期連結会計期間において、Raging Bull合同会社に対する債権4,933,032千円について取立不能または取立遅延のおそれが明らかになり、その事象が前第3四半期連結会計期間の末日において生じていたことが判明したため、当該債権4,933,032千円と仮受金1,016,914千円との差額3,916,117千円について貸倒引当金を計上しました。加えて、前第4四半期連結会計期間に長期預け金に対する貸倒引当金及びのれんの減損損失を計上しております。この結果、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純損失5,120,709千円を計上しました。また、2020年6月期以降において営業損失が継続しており、当第1四半期連結累計期間には株式会社アップライツに係る投資有価証券評価損を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失632,729千円を計上し、当第1四半期連結会計期間末において、65,379千円の債務超過となっております。このような状況のなか、今後追加の運転資金が必要になることが想定されますが、一部の借入については実行できたものの十分な資金は確保できておらず、現時点では金融機関等からの追加の資金調達について確実な見通しが得られている状況にはありません。

これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況の解消するために、当社グループは、「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（継続企業の前提に関する注記）」に記載の諸施策を遂行することにより、収益構造の改善及び財務基盤の安定化に取り組んでおります。